

活動プログラム展開案 <高等学校>  
「友達のトラブルを解決する方法を学ぼう」

本時のねらい

- ・友達のトラブルを解決する方法について考えることができる。

授業前の取り扱い

- ・ペアやグループをつくる場合は意図的な構成を行い、生徒の心理的な負担をできる限り減らすように配慮する。
- ・本時の内容について配慮を要する生徒がいる場合は、本時の活動の内容や流れを事前に知らせる。

展開(本時で使用する【スライド1】～【スライド20】は、展開案の後に示しています。)

学習活動	教師の発言( ) 予想される生徒の発言(・)	指導上の留意点
<p>1. 前時の学習について振り返る。 【3分】</p> <p>2. 本時のめあてを知る。 【1分】</p>	<p>【スライド1】(オープニングスライド)</p> <p>【スライド2】 前回の授業では、「トラブルにならないような話し方」について学習しました。漫画本を返してくれないAさんがまた漫画本を貸してほしいと言ってきたとき、Bさんがどのような話し方をしていたか覚えていますか。</p> <p>【スライド3】 【話し方のポイント】は4つありましたね。</p> <p>最初に「前に貸した漫画本、まだ返してもらってないよね?」と、Aさんに事実を確認しました。次に「もう一回読み直したい」と、自分の気持ちを伝えました。そして「明日持ってきてくれる?」と、相手にどうしてほしいのかを提案しました。最後に「前の分を返してくれたら、新しいのを貸すのはどう?」と、別の提案をしました。</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <p>【話し方のポイント】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>事実を確認する</li> <li>自分の気持ちを伝える</li> <li>相手にどうしてほしいのかを提案する</li> <li>別の提案をする</li> </ul> </div> <p>【スライド4】 これまで、「トラブルはなぜ起きるのか」ということで、怒りや怒りのコントロールの仕方について学習しました。また、「トラブルが起きないようにするためにはどのようにすればよいか」ということで、トラブルにならないような話し方について考えて、練習をしました。でも、トラブルが起きないように気を付けていても、トラブルが起きてしまうのは自然なことです。</p> <p>【スライド5】 今日は、「友達2人の間でトラブルが起きたときに、どのようにすればよいか」について学習します。</p>	

【本時のめあて】 友達のトラブルを解決する方法を学ぼう

3. 動画を見て、トラブル解決のポイントを知る。

(1) 動画を見る。  
【8分】

【スライド6】

今日考えるトラブルの場面は、佐賀県の高校生を対象に実施した「友達との間で起きたトラブルについての調査結果」で、一番多かったトラブルの場面です。皆さんの身の回りでも、よく起きているのではないのでしょうか。

【トラブルの場面】

部活動で、AさんがBさんに「真面目に練習してほしい」と注意しましたが、Bさんは「真面目に練習している」と言って、AさんとBさんがもめています。

このような場面で、当事者だけで解決できない場合、どのようにしたらよいと思いますか。  
・第三者に相談する

いろいろな解決方法があると思いますが、今日は、このようなトラブルが起きたときに、もめている2人の間に第三者が入ってトラブルを解決する方法について学習します。

【スライド7】

これから、先ほどの部活動の場面で、AさんとBさんのトラブルが起きてから解決していくまでの動画を見ます。間に入る第三者のCさんが、どのようなことに気を付けてAさんとBさんのトラブルを解決しているのかを考えながら見ましょう。

【スライド8】

【動画】を見てください。

(2) トラブル解決のポイントを確認する。  
【10分】

【スライド9】

トラブルを解決している様子を見て、間に入ったCさんのどのようなところが良かったか、気付いたことを発表してください。

- ・解決するために、2人の間に入ることの了解を得ていた。
- ・2人に、相手の話を最後まで聴くことを約束させていた。
- ・解決するためのルールを確認していた。
- ・2人の話を繰り返して確認しながら、平等に聴いていた。
- ・どのようにしたら解決できるのか、2人に考えさせていた。
- ・自分から解決案を出さなかった。

・ AさんとBさんの間に立っていた。

Cさんは、AさんとBさんの間に立って2人の言い分を聴き、AさんとBさんで解決していく手助けをしていましたね。

もし、Cさんが解決案を途中で言ったとしたら、AさんとBさんはどのような気持ちになったでしょうか。

- ・勝手に決めてほしくない
- ・まだ、言いたいことがあった

トラブルを解決するためには、間に入る人が解決案を出さずに、もめている当事者同士で解決に向かうように両者の言い分を平等に聴いていくことが大切です。

・トラブルを解決するのはあくまでも当事者であり、間に入るCは、両者の言い分を聴き、冷静に解決に向かうように援助する立場であることを押さえる。

【スライド10】

トラブル解決のポイントをまとめましょう。トラブル解決のポイントは4つです。ワークシートの1に書きましょう。

・ワークシートを配付する。

【トラブル解決のポイント】

トラブルの当事者である2人に、間に入ることを確認する

トラブルの当事者である2人に、相手の話を最後まで聴くことを約束させる

トラブルの当事者である2人の言い分を繰り返しながら平等に聴く

解決案を出さない

自分たちで解決が難しそうな場合は、大人に相談する

また、トラブル解決の留意事項として、自分たちで解決が難しそうな場合は、信頼できる大人に相談する、があります。

【スライド11】

トラブル解決のポイントに気を付けながら練習しましょう。

練習するときの約束を確認します。互いが気持ち良く練習するための約束は、恥ずかしがらないこと、冷やかさないことの2つです。

・学級の状態によっては、練習の約束に「ふざけない」を追加する。

- ・恥ずかしがらない
- ・冷やかさない

4. トラブル解決のポイントに気を付けながら練習する。

【20分】

実際に行動できるようになるためには、自分が恥ずかしながら練習することと、他の人が練習しているのを冷やかさないことが大切です。約束を守ってしっかり練習しましょう。

【スライド12】

練習は、動画と同じトラブルの場面の【練習シナリオ】を使います。今日は、Cさんが間に入るポイントの部分まで練習します。

3人グループになり、「もめている役」(Aさん、Bさん)、「間に入る役」(Cさん)に分かれて練習します。

スライドの役割のローテーション表を見てください。3回練習を繰り返して、全ての役割を体験します。役割の交代の仕方は分かりましたか。

3人グループで、ア、イ、ウを決めてください。

<練習1回目>

【スライド13】

役割を確認します。Aさん役の人、手を挙げてください。Bさん役の人、手を挙げてください。Cさん役の人、手を挙げてください。

皆さん立ってください。Cさん役の人は、Aさん役の人とBさん役の人の間に立ってください。

トラブル解決のポイントに気を付けて練習しましょう。早く終わったグループは、座って静かに待ってください。

1回目の練習を始めます。

・3人グループはあらかじめ編成しておき、グルーピングをスライド等で提示する。

・役割の交代の仕方をスライドで提示する。

【練習シナリオ】

A：ねえBさん！真面目に練習してよ。

B：は？何言ってるの？真面目にやってるし。

A：今適当にやってたでしょう。ちゃんと見たし。

B：絶対、真剣にやってた。真面目に練習してます。

C：ちょっと待って。何？どうしたの？なんかすごくもめてるけど。

B：私は真面目に練習しているのに、Aさんがやっていないって言ってきて。

A：やってなかったでしょ！なんか適当にやってたし。

C：分かった、分かった。もめてるんだよね？

A B：うん。

C：じゃあ、そのもめごとを解決したいと思うんだけど、ちょっと話に入らせてもらっていいかな。

A B：うん。

C：じゃ、いっしょに解決していこう。

A B：うん。

C：話をきかせてもらう前に、相手の話を最後まできく、というルールを守ってほしいんだけど。Aさん、できる？

A : がんばってみる。  
 C : Bさんは?  
 B : じゃあ、私もがんばる。  
 C : よし、じゃあ、このルールを守って、話をきかせてね。  
 どちらから話をきこうかな。  
 A : じゃあ、私から言っていていい?  
 C : Bさん、Aさんから言ってもらっていいかな。  
 B : うん、いいよ。  
 C : じゃあ、お願いします。  
 A : 私は、Bさんが同じところばかり繰り返しやって、真面目に練習  
 してるように見えなかったから注意しただけなんだけど。  
 B : (Aさんのセリフにかぶせるように) 真面目にしてみました!!  
 C : あっ、Bさん。Bさん、ちょっと待って。  
 約束したルール覚えてる?相手の話を最後まできくんだったよね。  
 だからちょっと我慢してくれるかな。  
 B : うん、そうだった。  
 C : その言いたかった気持ちとか、言いたかったことは覚えておいてね。  
 次にBさんの番が回ってくるから、それまでちょっと待っててね。  
 B : うん、分かった。  
 C : Bさん、ありがとう。  
 B : うん。  
 C : じゃあ、Aさん。続きをお願いします。

1回目の練習は終わりましたか。

これは練習ですから、終わった後は役割から降りて、演じた役割や相手に対して抱いた感情を引きずらないように、一度気持ちを切り替えます。大丈夫ですか。

自分がした役と、どのような気持ちになったのかを覚えておいてください。後でワークシートに書きます。

<練習2回目>( <練習1回目と同様に> )  
 【スライド14】～【スライド15】

<練習3回目>( <練習1回目と同様に> )  
 【スライド16】～【スライド17】

【スライド18】

自分がした役と、そのときどのような気持ちになったのかを、ワークシートの2に書きましょう。

ワークシートに書いたことを発表しましょう。

【A役】

- ・ B役の人が感情的に反発してきて腹が立った。
- ・ C役の人が入ってくれて、自分の気持ちがしっかり言えてよかった。

【B役】

- ・ A役から一方的に非難されて腹が立った。
- ・ C役が間に入ってくれたおかげで、落ち着いて話を聴くことができるようになった。

・ 生徒の発言を板書する。

<p>5. 本時の学習を振り返る。 【8分】</p>	<p>【C役】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・結構大変だった。2人の間に入るのは勇気がいる。2人の話を平等に聴くのも難しかった。</li> <li>・こうしたらいいのに、という気持ちを抑えながら話を聴くのは難しかった。早く仲直りしてほしいという気持ちになった。</li> <li>・本当にこの場面があったら、この立場は無理だと思った。</li> </ul> <p>【スライド19】</p> <p>今日の学習を振り返ります。振り返りシートに記入しましょう。</p> <p>今日の学習の気付きや感想で書いたことを発表しましょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・Cさんのやり方をすると、誰も嫌な気持ちにならずにトラブルが解決できると思った。</li> <li>・Cさんがどれだけ冷静に話すことができる場をつくるかが大切だと思った。</li> <li>・それぞれの立場にいる人の気持ちが分かってよかった。最後まで相手の話を聴くことは大事だと思った。</li> </ul> <p>【スライド20】</p> <p>今日は、もめている友達の間に入ってトラブルを解決する方法について学習しました。皆さんの感想にもあったように、間に入るときには勇気がいることや、もめている2人の話を平等に聴くことが難しいことも分かりました。今日学習した内容をトラブルの場面で生かすことは難しいかもしれませんが、Cさんの話の聴き方は、複数での話合いの場面など、普段の生活でも生かすことができます。</p> <p>これまで学習してきた怒りのコントロールの仕方やトラブルにならないような話し方と聴き方、そして今日学習したトラブル解決のポイントを生かして、トラブルが起きないようにしたり、起きてしまったトラブルが小さいうちに解決したりすることにつなげてほしいと思います。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・振り返りシートを配付する。</li> <li>・振り返りシートに記入したことを発表させる。</li> <li>・振り返りシートを記入する時間が不足した場合は、数名の生徒に気付きや感想を発表させ、簡単なシェアリングと授業のまとめを行う。その後、帰りのHRで振り返りシートを記入させる。</li> <li>・生徒が記入した内容は、後日、SHRやLHR、学級通信などで紹介してもよい。</li> <li>・活動プログラム全体を通した学習内容をまとめる。</li> </ul>
--------------------------------	--	--

評価の視点

- ・友達のトラブルを解決する方法について考えることができたか。

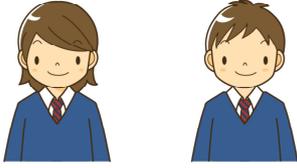
授業後の取り扱い

- ・生徒の感想をSHRやLHR、学級通信などで紹介する。
- ・学習したポイントを学級内に掲示し、折に触れて確認する。
- ・学級通信などで活動の内容を紹介し、家庭での様子を見守っていただくようにする。
- ・学年間で活動内容等を共有し、学校生活における生徒の様子を観察する。

本時で使用するスライドと、スライドを提示する際の教師用シナリオです。

### 【スライド1】

## トラブルを解決するために



【このスライドを提示する際の教師用シナリオ】

<オープニングスライド(授業前待機画面)>

本時で使用するスライドと、スライドを提示する際の教師用シナリオです。

### 【スライド2】

## トラブルになりそうな場面

友達のAさんに頼まれて、Bさんは漫画本を貸しました。Aさんは忘れてしまったのか、いつまで経っても返してくれません。

そして、ある日、AさんはBさんに、また別の漫画本を貸してほしいと言ってきました。



【このスライドを提示する際の教師用シナリオ】

前回の授業では、「トラブルにならないような話し方」について学習しました。

漫画本を返してくれないAさんがまた漫画本を貸してほしいと言ってきたとき、Bさんがどのような話し方をしていたか覚えていますか。

本時で使用するスライドと、スライドを提示する際の教師用シナリオです。

### 【スライド3】

## 【話し方のポイント】

- |                                 |   |                     |
|---------------------------------|---|---------------------|
| ① 「前に貸した漫画本、まだ返してもらってないよね？」     | ➡ | ① 事実を確認する           |
| ② 「もう1回読み直したいんだけど」              | ➡ | ② 自分の気持ちを伝える        |
| ③ 「明日持ってきてくれる？」                 | ➡ | ③ 相手にどうしてほしいのかを提案する |
| ④ 「前のを返してくれたら、新しいのを貸すっていうのはどう？」 | ➡ | ④ 別の提案をする           |

【このスライドを提示する際の教師用シナリオ】  
(●印のとき、アニメーションを動かす)

【話し方のポイント】は4つありましたね。

最初に「前に貸した漫画本、まだ返してもらってないよね？」と、

●Aさんに事実を確認しました。

次に「もう一回読み直したい」と、

●自分の気持ちを伝えました。

そして「明日持ってきてくれる？」と、

●相手にどうしてほしいのかを提案しました。

最後に「前の分を返してくれたら、新しいのを貸すのはどう？」と、

●別の提案をしました。

【話し方のポイント】

- ① 事実の確認をする
- ② 自分の気持ちを伝える
- ③ 相手にどうしてほしいのかを提案する
- ④ 別の提案をする

本時で使用するスライドと、スライドを提示する際の教師用シナリオです。

### 【スライド4】

トラブルが起きるときに、どんな感情を抱くか  
【怒りや怒りのコントロールの仕方】



トラブルが起きないようにするためには  
どのようにすればよいか  
【トラブルにならないような話し方】

でも・・・

トラブルが起きてしまうのは自然なこと

【このスライドを提示する際の教師用シナリオ】

(●印のとき、アニメーションを動かす)

●これまで、「トラブルはなぜ起きるのか」ということで、怒りや怒りのコントロールの仕方について学習しました。

●また、「トラブルが起きないようにするためにはどのようにすればよいか」ということで、

●トラブルにならないような話し方について考えて、練習をしました。

●でも、トラブルが起きないように気を付けていても、トラブルが起きてしまうのは自然なことです。

本時で使用するスライドと、スライドを提示する際の教師用シナリオです。

### 【スライド5】

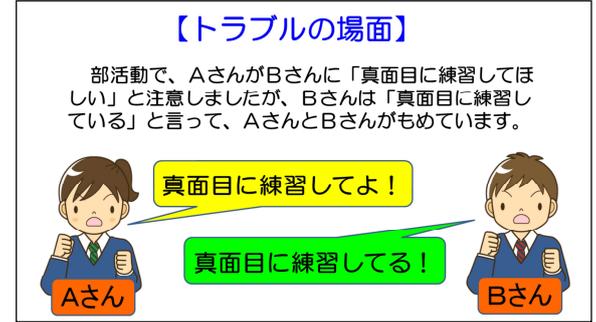


【このスライドを提示する際の教師用シナリオ】

今日は、「友達2人の中でトラブルが起きたときに、どのようにすればよいか」について学習します。

本時で使用するスライドと、スライドを提示する際の教師用シナリオです。

### 【スライド6】



【このスライドを提示する際の教師用シナリオ】

今日考えるトラブルの場面は、佐賀県の高校生を対象に実施した「友達との間で起きたトラブルについての調査結果」で、一番多かったトラブルの場面です。皆さんの身の回りでも、よく起きているのではないのでしょうか。

【トラブル場面】

部活動で、AさんがBさんに「真面目に練習してほしい」と注意しましたが、Bさんは「真面目に練習している」と言って、AさんとBさんがもめています。

このような場面で、当事者だけで解決できない場合、どのようにしたらよいと思いますか。

・第三者に相談する

いろいろな解決方法があると思いますが、今日は、このようなトラブルが起きたときに、もめている2人の間に第三者が入ってトラブルを解決する方法について学習します。

本時で使用するスライドと、スライドを提示する際の教師用シナリオです。

### 【スライド7】



【このスライドを提示する際の教師用シナリオ】

(●印のとき、アニメーションを動かす)

これから、先ほどの部活動の場面で、AさんとBさんのトラブルが起きてから解決していくまでの動画を見ます。

●間に入る第三者のCさんが、どのようなことに気を付けてAさんとBさんのトラブルを解決しているのかを考えながら見ましょう。

本時で使用するスライドと、スライドを提示する際の教師用シナリオです。

### 【スライド8】



【このスライドを提示する際の教師用シナリオ】

【動画】を見てください。

本時で使用するスライドと、スライドを提示する際の教師用シナリオです。

### 【スライド9】



【このスライドを提示する際の教師用シナリオ】

トラブルを解決している様子を見て、間に入ったCさんのどのようところが良かったか、気付いたことを発表してください。

- ・解決するために、2人の間に入ることの了解を得ていた。
- ・2人に、相手の話を最後まで聴くことを約束させていた。
- ・解決するためのルールを確認していた。
- ・2人の話を繰り返して確認しながら、平等に聴いていた。
- ・どのようにしたら解決できるのか、2人に考えさせていた。
- ・自分から解決案を出さなかった。
- ・AさんとBさんの間に立っていた。

Cさんは、AさんとBさんの間に立って2人の言い分を聴き、AさんとBさんと解決していく手助けをしていましたね。

もし、Cさんが解決案を途中で言ったとしたら、AさんとBさんはどのように思ったでしょうか。

- ・勝手に決めてほしくない
- ・まだ、言いたいことがあった

トラブルを解決するためには、間に入る人が解決案を出さずに、もめている当事者同士で解決に向かうように両者の言い分を平等に聴いていくことが大切です。

本時で使用するスライドと、スライドを提示する際の教師用シナリオです。

### 【スライド10】

#### 【トラブル解決のポイント】

- ① 間に入ることを確認する
- ② 相手の話を最後まで聴くことを約束させる
- ③ 2人の言い分を繰り返しながら平等に聴く
- ④ 解決案を出さない

※自分たちで解決が難しそうな場合は、大人に相談する

【このスライドを提示する際の教師用シナリオ】

トラブル解決のポイントをまとめましょう。

トラブル解決のポイントは4つです。  
ワークシートの1に書きましょう。

【トラブル解決のポイント】

- ① トラブルの当事者である2人に、間に入ることを確認する
- ② トラブルの当事者である2人に、相手の話を最後まで聴くことを約束させる
- ③ トラブルの当事者である2人の言い分を繰り返しながら平等に聴く
- ④ 解決案を出さない

また、トラブル解決の留意事項として、自分たちで解決が難しそうな場合は、信頼できる大人に相談する、があります。

本時で使用するスライドと、スライドを提示する際の教師用シナリオです。

### 【スライド11】

#### 【練習するときの約束】

- ・ 恥ずかしがらない
- ・ 冷やかさない

【このスライドを提示する際の教師用シナリオ】

トラブル解決のポイントに気を付けながら練習しましょう。

練習するときの約束を確認します。互いが気持ち良く練習するための約束は、恥ずかしがらないこと、冷やかさないことの2つです。

実際に行動できるようになるためには、自分が恥ずかしがらずに練習することと、他の人が練習しているのを冷やかさないことが大切です。約束を守ってしっかり練習しましょう。

本時で使用するスライドと、スライドを提示する際の教師用シナリオです。

### 【スライド12】

＜練習＞ 役割のローテーション表

	ア	イ	ウ
1回目	Aさん	Bさん	Cさん
2回目	Cさん	Aさん	Bさん
3回目	Bさん	Cさん	Aさん

【このスライドを提示する際の教師用シナリオ】

練習は、動画と同じトラブルの場面の【練習シナリオ】を使います。

3人グループになり、「もめている役」(Aさん、Bさん)、「間に入る役」(Cさん)に分かれて練習します。

スライドの役割のローテーション表を見てください。

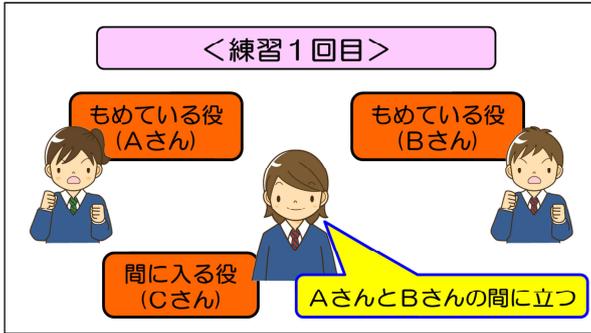
3回練習を繰り返して、全ての役割を体験します。

役割の交代の仕方は分かりましたか。

3人グループで、ア、イ、ウを決めてください。

本時で使用するスライドと、スライドを提示する際の教師用シナリオです。

【スライド13】



【このスライドを提示する際の教師用シナリオ】

<練習1回目>

役割を確認します。

Aさん役の人、手を挙げてください。

Bさん役の人、手を挙げてください。

Cさん役の人、手を挙げてください。

皆さん立ってください。

Cさん役の人は、Aさん役の人とBさん役の人の間に立ってください。

【トラブル解決のポイント】に気を付けて練習しましょう。

早く終わったグループは、座って静かに待ってください。

1回目の練習を始めます。

1回目の練習は終わりましたか。

これは練習ですから、終わった後は役割から降りて、

演じた役割や相手に対して抱いた感情を引きずらないように、

一度気持ちを切り替えます。大丈夫ですか。

自分がした役と、どのような気持ちになったのかを覚えておいてください。

後でワークシートに書きます。

本時で使用するスライドと、スライドを提示する際の教師用シナリオです。

【スライド14】

<練習> 役割のローテーション表

	ア	イ	ウ
1回目	Aさん	Bさん	Cさん
2回目	Cさん	Aさん	Bさん
3回目	Bさん	Cさん	Aさん

【このスライドを提示する際の教師用シナリオ】

<練習2回目> (<練習1回目>と同様に)

役割を交代して2回目の練習を始めます。

役割を確認します。

Aさん役の人、手を挙げてください。

Bさん役の人、手を挙げてください。

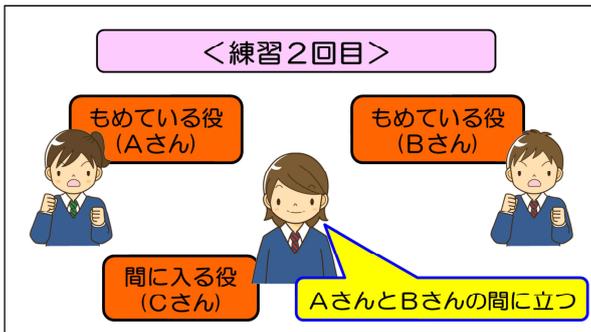
Cさん役の人、手を挙げてください。

皆さん立ってください。

Cさん役の人はAさん役の人とBさん役の人の間に立ってください。

本時で使用するスライドと、スライドを提示する際の教師用シナリオです。

【スライド15】



【このスライドを提示する際の教師用シナリオ】

<練習2回目>

役割を確認します。

Aさん役の人、手を挙げてください。

Bさん役の人、手を挙げてください。

Cさん役の人、手を挙げてください。

皆さん立ってください。

Cさん役の人はAさん役の人とBさん役の人の間に立ってください。

【トラブル解決のポイント】に気を付けて練習しましょう。

早く終わったグループは、座って静かに待ってください。

2回目の練習を始めます。

2回目の練習は終わりましたか。

これは練習ですから、終わった後は役割から降りて、

演じた役割や相手に対して抱いた感情を引きずらないように、

一度気持ちを切り替えます。大丈夫ですか。

自分がした役と、どのような気持ちになったのかを覚えておいてください。

後でワークシートに書きます。

本時で使用するスライドと、スライドを提示する際の教師用シナリオです。

【スライド16】

<練習> 役割のローテーション表

	ア	イ	ウ
1回目	Aさん	Bさん	Cさん
2回目	Cさん	Aさん	Bさん
3回目	Bさん	Cさん	Aさん

【このスライドを提示する際の教師用シナリオ】

<練習3回目> (<練習1回目>と同様に)

役割を交代して3回目の練習を始めます。

役割を確認します。

Aさん役の人、手を挙げてください。

Bさん役の人、手を挙げてください。

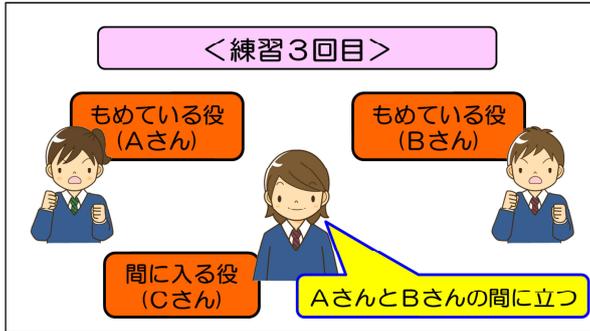
Cさん役の人、手を挙げてください。

皆さん立ってください。

Cさん役の人はAさん役の人とBさん役の人の間に立ってください。

本時で使用するスライドと、スライドを提示する際の教師用シナリオです。

### 【スライド17】



【このスライドを提示する際の教師用シナリオ】

<練習3回目>

役割を確認します。

Aさん役の人、手を挙げてください。

Bさん役の人、手を挙げてください。

Cさん役の人、手を挙げてください。

皆さん立ってください。

Cさん役の人はAさん役の人とBさん役の人の間に立ってください。

【トラブル解決のポイント】に気を付けて練習しましょう。

早く終わったグループは、座って静かに待ってください。

3回目の練習を始めます。

3回目の練習は終わりましたか。

これは練習ですから、終わった後は役割から降りて、演じた役割や相手に対して抱いた感情を引きずらないように、一度気持ちを切り替えます。大丈夫ですか。

本時で使用するスライドと、スライドを提示する際の教師用シナリオです。

### 【スライド18】



【このスライドを提示する際の教師用シナリオ】

自分がした役と、そのときどのような気持ちになったのかを、ワークシートの2に書きましょう。

ワークシートに書いたことを発表しましょう。

【A役】

・B役の人が感情的に反発してきて腹が立った。

・C役の人が入ってくれて、自分の気持ちがはっきり言えてよかった。

【B役】

・A役から一方的に非難されて腹が立った。

・C役が間に入ってくれたおかげで、落ち着いて話を聴くことができるようになった

【C役】

・結構大変だった。2人の間に入るのは勇気がある。2人の話を平等に聴くのも難しかった。

・こうしたらいいのに、という気持ちを抑えながら話を聴くのは難しかった。

早く仲直りしてほしいという気持ちになった。

・本当にこの場面があったら、この立場は無理だと思った。

本時で使用するスライドと、スライドを提示する際の教師用シナリオです。

### 【スライド19】



【このスライドを提示する際の教師用シナリオ】

今日の学習を振り返ります。振り返りシートに記入しましょう。

今日の学習の気付きや感想で書いたことを発表しましょう。

・Cさんのやり方をすると、誰も嫌な気持ちにならずにトラブルが解決できると思った。

・Cさんがどれだけ冷静に話すことができる場をつくるのが大切だと思った。

・それぞれの立場にいる人の気持ちが分かってよかった。最後まで相手の話を聴くことは大事だと思った。

本時で使用するスライドと、スライドを提示する際の教師用シナリオです。

### 【スライド20】



【このスライドを提示する際の教師用シナリオ】

今日は、もめている友達の間に入ってトラブルを解決する方法について学習しました。

皆さんの感想にもあったように、間に入るときには勇気があることや、もめている2人の話を平等に聴くことが難しいことも分かりました。

今日学習した内容をトラブルの場面で生かすことは難しいかもしれませんが、Cさんの話の聴き方は、複数での話し合いの場面など、普段の生活でも生かすことができます。

これまで学習してきた怒りのコントロールの仕方やトラブルにならないような話し方と聴き方、そして今日学習したトラブル解決のポイントを生かして、トラブルが起きないようにしたり、起きてしまったトラブルが小さいうちに解決したりすることにつなげてほしいと思います。